



「風との会話」に理由は要らない

◆第23回 シマノ・バイカーズフェスティバル



7月27日(土)・28日(日)富士見パノラマリゾートで、国内最大級のバイクの祭典「シマノ・バイカーズフェスティバル」が開催されました。ゲレンデを使った競技系の種目や、地域周辺を走りながら飲食店を訪ねるツアーなど、全国から愛好者約2,200人が参加しました。親子で参加した方は「風がさわやかで気持ち良い」と話していました。



自分たちの「本気」を信じた結果

◆県消防ポンプ操法大会

8月4日(日)長野市飯綱高原で、消防ポンプ操法・ラッパ吹奏の県大会が開催されました。県内13地区から消防団代表チームが、日ごろの研ぎ澄まされた訓練成果を披露しました。

ポンプ車操法の部に、諏訪地区代表として挑んだ富士見町(第1分団)が、迅速で的確な技術の結果、「優勝」となりました。毎日、限界ギリギリのところで仲間と訓練し、その度ごとに自分たちの力を信じ合ってきた選手や団員たち。

当日は、緊張と不安が表裏一体の中であるにもかかわらず出すことができた「本気の覚悟」。

選手たちは「挑戦し続けること、求め続けることの大切さを学び、そして支えてくれた家族や地域の方に感謝したい」と話していました。



姉妹町 西伊豆だより

堂ヶ島火祭り ～海賊船征伐の花火大会～

西伊豆に本格的な夏の到来を告げる恒例の花火大会「堂ヶ島火祭り」が7月24日に開催されました。

今年で第46回目を迎える火祭りは、点灯式から始まり、田子海太鼓による太鼓の演奏、さらに静岡県東部地区を中心に活動しているご当地アイドル「オレンジポート」のステージが行われ、その後花火が打ち上げられました。

「堂ヶ島火祭り」は、その昔西伊豆の沿岸に出没していた海賊に苦しめられていた地元の民が、酒に酔い漬れ船で寝ていた海賊たちを、火矢を使って退治した、という伝説にちなんで行われています。

花火大会のクライマックスでは、海上に浮かべた海賊船に、火薬を仕掛け、爆発炎上させる迫力満点です。

今年は、日中時折雨が降り、開催が危ぶまれましたが、夕方になると雨も止み約5,000人の観客がイベントと花火を楽しみました。





第30回 富士見OKKOHの情熱!!



「やっぱり 富士見が 大好き」

7月27日(土)今年も、富士見町恒例の夏のイベント「富士見OKKOH（オッコー）祭り」が行われました。

第30回を迎えた今回は、「～やっぱり富士見が大好き～」というサブタイトルのもと、朝7時から小学生ドッジボール大会を皮切りに、午前中は信濃境駅前エリアでカブトムシ釣り、JAZZ演奏、かき氷・綿あめの食べ放題やもちつきなど、子ども向けのイベントが開催されました。

その後、正午からメイン会場では富士見太鼓保存会の皆さんによる演奏が始まり、ミニSL機関車試乗会、猿回しショー、フラダンス、わんこそば大会、マジックショーなど多彩な催事が繰り広げられました。

夜の部「オッコー踊り」では雨に見舞われた時間もありましたが、1,000人を超す参加者が繰り出して、熱気に包まれながら踊りを楽しみました。各団体はそろいの法被やTシャツ、ゆかたなどで威勢の良い掛け声をかけながら富士見太鼓の演奏に合わせて、独自の振り付けをしていました。

子ども向けのイベントが拡充され、親子連れでにぎわった「30周年」の節目。心に残る、想い出深い祭りになったこと思います。





お祭りにご協力、後援してくださった各団体・企業の皆さん本当にありがとうございました。
また、来年の「第31回 富士見OKKOH」でお会いしましょう！

【富士見OKKOH実行委員会一同】

